

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-132130

(P2000-132130A)

(43) 公開日 平成12年5月12日 (2000.5.12)

(51) Int.Cl.<sup>7</sup>

識別記号

F I

テーマコード(参考)

G 0 9 F 19/00

G 0 9 F 19/00

D 5 C 0 9 6

13/04

13/04

R

19/22

19/22

Z

審査請求 未請求 請求項の数3 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号

特願平10-302409

(22) 出願日

平成10年10月23日 (1998.10.23)

(71) 出願人 598146344

中国テント工業株式会社

岡山県岡山市桜橋一丁目3番23号

(72) 発明者 奥村 功二郎

岡山県岡山市桜橋一丁目3番23号 中国テ  
ント工業株式会社内

(74) 代理人 100088993

弁理士 板野 嘉男

Fターム(参考) 5C096 AA21 AA24 BA01 BB02 BB22

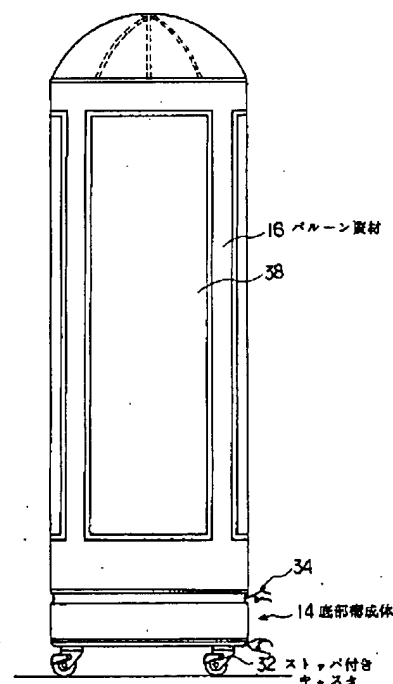
BB41 CB01 CC12 FA02

(54) 【発明の名称】 内照式広告バルーン

(57) 【要約】

【課題】 簡単に膨らませたり、萎ませたりできる広告効果の高い内照式広告バルーンを提供する。

【解決手段】 鍾の上部に、鍾に設けられた吸気口から吸気した空気を鍾の上方に吐気するブローアを設けた底部構成体と、吸気口を避けて底部構成体とその上方空間を包み、表面に透光性の広告表示体を剥離可能に貼付した非通気性、透光性、かつ、可撓性のバルーン資材と、バルーン資材の中に頂部から吊り下げられてバルーン資材と広告表示体を透光させる光を発する光源とからなる内照式広告バルーン。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 鍾の上部に、鍾に設けられた吸気口から吸気した空気を鍾の上方に吐気するブローアを設けた底部構成体と、吸気口を避けて底部構成体とその上方空間を包み、表面に透光性の広告表示体を剥離可能に貼付した非通気性、透光性、かつ、可撓性のバルーン資材と、バルーン資材の中に頂部から吊り下げられてバルーン資材と広告表示体を透光させる光を発する光源とからなる内照式広告バルーン。

【請求項2】 鍾が、水槽に水抜き可能に溜められた水で構成され、水槽の底面にストッパ付きキャストが取り付けられたものである請求項1に記載の内照式広告バルーン。

【請求項3】 広告バルーンがストッパ付きキャストが付いた台車に載せられているものである請求項1又は2に記載の内照式広告バルーン。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、内から光を照らして透過させる内照式広告バルーンに関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】従来からも、バルーンによる広告表示装置は知られている。則ち、空気で膨らませた特定の形状をしたバルーンの表面に広告メッセージを直接書いた、貼り付けたりしているものである。この広告バルーンは、多くは、建物の屋上等にロープ等で引っ張って固定していた。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】このため、かなり大がかりなものになり、一度設置すると、簡単に設置替えというわけには行かない。加えて、このような場所に設置したのでは、広告効果が低い。店頭先の路上等に設置できれば、より高い広告効果が期待できるが、この場合は、悪戯等を避けるために、夜間等には格納しなければならない。しかし、格納するとなれば、大きさも限られるし、格納の場所もとる。これを回避するには、その都度、バルーンを萎ませればよいが、バルーンを膨らませたり、萎ませたりするのは、技術を要する大変な作業で、誰でもが簡単にというわけにはゆかない。

【0004】更に、従来の広告バルーンでは、中に光源を収容して内照式とする発想はなかった。引火性のガス等を使用していて危険なこともあるが、大がかりなものであり、技術的に難しかったからである。従って、夜間等では広告効果はない。本発明は、このような課題を解決するものであり、バルーン資材に、内部に空気を供給できるブローアを常設して誰でもが簡単に膨らませたり、萎ませたりすることができるとともに、安全なものにして内照式にし、夜間でも広告効果が出るようにしたものである。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】以上の課題の下、本発明は、鍾の上部に、鍾に設けられた吸気口から吸気した空気を鍾の上方に吐気するブローアを設けた底部構成体と、吸気口を避けて底部構成体とその上方空間を包み、表面に透光性の広告表示体を剥離可能に貼付した非通気性、透光性、かつ、可撓性のバルーン資材と、バルーン資材の中に頂部から吊り下げられてバルーン資材と広告表示体を透光させる光を発する光源とからなる内照式広告バルーンを提供する。

【0006】以上の手段をとることにより、バルーン資材の中にはブローアが常設されているから、これを操作するだけで、膨らませたり（膨大）、萎ませたり（萎縮）できる。従って、天候が悪化したり、夜間等で悪戯されそうときには、萎ませておくことで、これを避けることができる。又、バルーン資材に供給される空気は大気であり、安全である。従って、バルーン資材及び広告表示体を透光性のもので構成し、中に光源を設けることで内照式となり、夜間でも広告機能を奏する。

【0007】又、本発明は、以上の内照式広告バルーンにおいて、鍾が、水槽に水抜き可能に溜められた水で構成され、水槽の底面にストッパ付きキャストが取り付けられた手段を提供する。これにより、鍾が軽くできる上に、キャストが取り付けられているから、移動が容易である。従って、朝出して夜しまうといったことが簡単にできる。

## 【0008】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図面を参照して説明する。図1は本発明の一例を示す広告バルーンを膨らませた（膨大）状態の側面図、図2は断面平面図、図3は断面側面図、図4は萎ませた（萎縮）状態の側面図であるが、この広告バルーンは、鍾10とその上部に設けられるブローア12とからなる底部構成体14と、底部構成体14とその上方空間を包むバルーン資材16と、バルーン資材16の中に設けられる光源18等とから構成される。

【0009】このうち、底部構成体14は、敷板20の外周に枠部材22を取り付けたものを支柱24で支えて何段（本例では2段）かに構成したものであり、各々の敷板20の間に鍾10を置いたものである。そして、一番上の鍾10の上に底板26を敷き、この上にブローア12を取付板28を介して設置したものである。鍾10の中心には、孔30が形成されており、ブローア12の吸気口をこの孔30に臨ませてある。従って、この孔30はブローア12の吸気口30を形成することになる。尚、本例における鍾10は、水槽10aに水抜き可能に溜めた水10bで構成してあり、鍾10の底面には、プレーキ付きキャスト32が取り付けられている。

【0010】底部構成体14とその上方空間は、バルーン資材16で包まれる。このバルーン資材16は、非通気性、透光性、かつ、可撓性の資材で構成されるが、こ

れには、テント資材等に用いられる、ポリエステル布にビニールコーティングしたポリエステルターポリンが適する。バルーン資材16の形状には種々のものが考えられるが、本例のものは、頂部が半球状をした円筒体のものである。従って、底部構成体14の枠部材22も、これに合わせた円形に形成されている。

【0011】このバルーン資材16の底を開口させておき、これを底部構成体14に上から被せて包む。この場合、バルーン資材16の下端とそのやや上方辺りに、絞り用のロープ34を入れておき、底部構成体12に被せたときにこれを絞って底部構成体14から抜けないようにしておくとともに、これとの間から空気が漏れないようにしておく。尚、バルーン資材16が膨大したとき、その形状をより完全にならしめるため、バルーン資材16の上部に骨材として何個かのリング材36が装填されている。又、半球状の部分にも形状維持のために何本かの縦骨37が設けられることもある。

【0012】バルーン資材16の表面には、広告メッセージを印刷した広告表示体（フェースシート）38が何枚かに分割された状態で貼付される（本例では3面にフェースシート38が貼られている）。このフェースシート38も、同じく透光性を有するもので、基本的には、バルーン資材16と同様なものである（中でも東レ株のルミパール（商品名）が適する）。フェースシート38の裏面周囲とこれが接当するバルーン資材16の相当箇所には両面ファスナーを取り付けておき、フェースシート38の貼付、剥離がワンタッチでできるようにしておく。フェースシート38は異なった広告メッセージのものに取り換える必要があるから、その操作を容易にするためである。以上の広告バルーンは、直径1.5m、高さ5m程度を最大なものとして、種々のサイズに製作される。

【0013】バルーン資材16の内部には光源18が設けられる。本例の光源18は、バルーン資材16の頂部から吊り下げられる複数の電球（又は蛍光灯）18で構成されている。則ち、バルーン資材16の頂部に掛金40を取り付けておき、これにフック42を掛けて電球18を取り付けた電線44を吊る仕掛けにしている。従って、バルーン資材16の膨大、萎縮に応じて上下するものとなる。尚、バルーン資材16の側面の底部には、ファスナーによる開口部46を設け、ここから、光源18の電線44やブロー12の導線48を外に出すようにしている。又、この開口部46はメンテナンス用としても使用する。

【0014】以上により、ブロー12のスイッチ（図示省略）を入れてバルーン資材16の中に空気を送り込めば、バルーン資材16は膨大するから、その表面のフェースシート38も拡張して広告機能を発揮する。このとき、鍾10は風等で広告用バルーンが倒れたりするのを防ぐ。そして、フェースシート38を光らせようと思

えば、光源18のスイッチ（図示省略）を入れる。

【0015】一方、夜が更けたりして広告用バルーンの使用を止めようとするときには、ブロー12のスイッチを切り、バルーン資材16を萎縮させる（この場合の萎縮大きさは概ね70cm以下になるのが好ましい）。小型のものでは、鍾10も軽く、この状態にすれば、台車等に載せて移動できる。しかし、大型のものでは、この状態にただけでは、重量が重くて移動できない。

【0016】そこで、鍾10を水槽10aに溜めた水10bにしておけば、給排水口に設けられたコック（図示省略）を捻ることで水10bが水槽10aから抜ける。これにより、広告用バルーンの重量は軽減され、移動が可能になる。このとき、底部構成体14の下面にキャスタ32が付いておれば、そのまま押せば移動できて便利である。尚、このキャスタ32をブレーキ付きとしたのは、使用時に風等で動かないようにするためである。

【0017】図5は広告用バルーンの他の例を示す側面図であるが、本例のものは、ブレーキ付きキャスタ32が付いた台車50を用意しておき、広告バルーンをこの上に常時載せておくものである。こうすると、移動は一層容易なものとなる。この場合、台車50にハンドル52を付けておけば、非力な女子、子供、老人でも簡単に移動できる。

【0018】以上、本発明の実施の形態について説明したが、本発明はこれらの他に種々改変された形態で実施される。例えば、上記のブローは常時作動型であり、バルーン資材内部の空気圧と均衡して吐気するものであるが、この他に、吸気口を開閉可能にするとともに、内部空気の空気圧によって電氣的スイッチを入切するものを使用しての間欠運転型にしてもよい。

【0019】又、吸気口の位置も上記した位置に限らず、バルーン資材に包まれない箇所ならどこでもよい。場合によっては、バルーン資材に孔をあけ、ここを吸気口としてもよい。更に、鍾については、水槽によるものを示したが、通常の鍾のものでもよい。この他、光源は発光するものであれば電球に限らないし、バルーン資材の外形状も円柱形の他に多角形等種々なものが考えられる。

【0020】

【発明の効果】以上、本発明によれば、則ち、バルーン資材は膨大、萎縮できるから、天候が悪化したり、夜間等で悪戯されそうときには、萎ませて安全な所に移動させておけばよい。又、このとき、鍾を水槽に水抜き可能に溜めた水で代替しておき、底にキャスタを付けておけば、この移動が容易になる。加えて、バルーン資材の中に供給される空気は大気であって安全なものであるから、中に光源を設けてバルーン資材と広告表示体を透光性のものにすることで、夜間でも広告機能を奏する内照式となり、広告効果が高い。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一例を示す広告バルーンの膨大時の側面図である。

【図2】本発明の一例を示す広告バルーンの膨大時の横断面図である。

【図3】本発明の一例を示す広告バルーンの膨大時の縦断面図である。

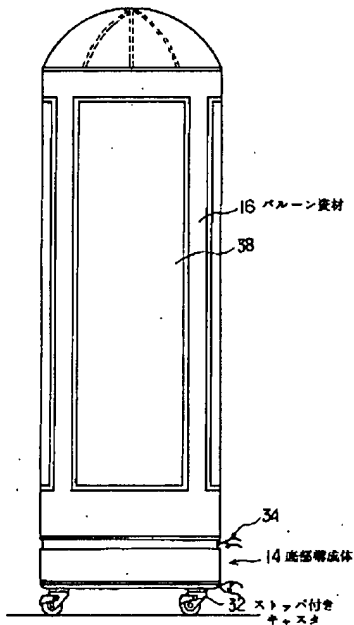
【図4】本発明の一例を示す広告バルーンの萎縮時の側面図である。

【図5】本発明の他の一例を示す広告バルーンの萎縮時の側面図である。

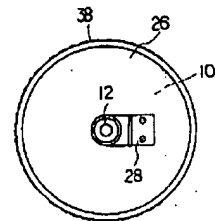
【符号の説明】

- 10 錘  
10a 水槽  
10b 水  
12 ブロワー  
14 底部構成体  
16 バルーン資材  
18 光源  
30 吸気口  
32 ストップ付きキャスタ  
50 台車

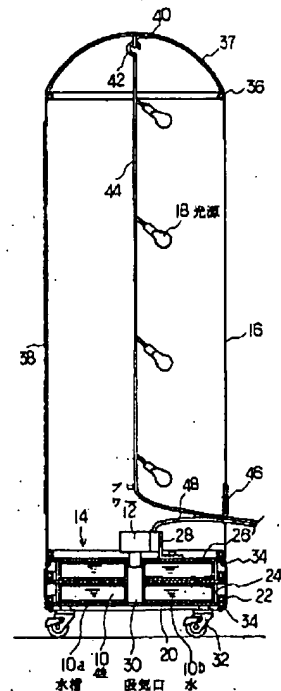
【図1】



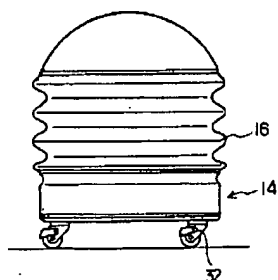
【図2】



【図3】



【図4】



(5)

特開2000-132130

【図5】

